

はたらきかた 改革通信2025



0 3 2025-12-11

☆働き方改革シェアミーティング#03を行いました

令和7年10月、「第3回働き方改革シェアミーティング」を行いました。テーマは「業務の効率化」。今回は、県内外の市町村教育委員会、小・中学校、関係団体の方々に加え、多くの事務職の先生方にご参加いただき、意見交換を行いました。

■グランドデザインや昨年度の校内プロジェクトに立ち返る働き方改革(好事例の紹介)

塩尻市立広陵中学校の取組について、小坂校長先生より紹介いただきました!

1 評価やテスト運用の見直し

- 単元評価の積み重ね重視
- 学習評価を2学期制に
- 定期テストの精選
- 自動採点の活用

2 日課の改善

- 休み時間など、変える部分もあり、変えない部分もあり
- 水曜に加え、月曜も5時間授業導入
- 生み出した時間を「学級づくり」の場に

3 校務支援システムやチャットの活用

- 校務支援システム→生徒に関する情報交換
- チャット→授業研究、授業を見ながらリアルタイムな情報のやりとり

4 AI自動採点

- 記号解答の問題に加え、記述解答の問題も一部自動採点により時間短縮に

5 その他

- 職員室の整理整頓
- ミーティングルームの設置
- モップ掛けの導入

■こんな「効率化」を進めています! 参加者によるグループミーティングから

【こんな「効率化」を進めています!】

- 校務支援システムに予知情報の一元管理を推進
- 集金業務のQR伝票利用による簡略化や市町村への移行
- 時間外の電話を行政が一元管理
- 会議の短縮、開門時間の見直し



【効率化を試みたけれど…】

- チャットが普及したけれど、時間外の受信が負担に
- テスト回数減による学習意欲の低下
- なんでも削減ではなく、やりがいや教育的価値を守らなければ

【こんなことができるのでは?】

- PTAが学校の安全性について発信
- 市町村単位で効率化に係る好事例を共有

■「業務の効率化」とは ~アドバイザー 信州大学 荒井先生より~

【☞ 効率と効果の区別】

- 「**効率**」:仕事を経済的に行うこと(時間・量を重視)
 - 成果の保障はなし。効率化だけに偏ると、価値ある仕事が「単なる作業」になってしまうリスクも。
- 「**効果**」:結果としてどのような価値を生み出したか(成果・貢献度を重視)
 - 限られた時間とエネルギーを「価値ある成果」に焦点化することが重要。
 - 早く・多く仕事をこなしても価値ある成果につながるとは限らない。

【■ 次期学習指導要領に向けて】

- 「裁量的な時間」が導入予定。業務負担軽減と学校運営の改善につなげるため、自由と自己責任のバランスをどう整えるかが課題。
- 学校の創意工夫により、教育の本質的な部分に集中できる環境の整備。

【👓 今後の展望】

- 効率化は「**仕組み化**」や「**関係性の構築**」とセットで考えるべき。
- PTAや事務職員との連携も重要。やりがい・関わりやすさの両立を模索。

【💡 ポイント!】

- 「効率化の先に何を求めるか」が重要。
- 「**働き方改革**」=「**単なる時短**」ではない。減らした先に何を増やすかを考えることが必要。
- 「何のために働き方改革を行うのか」という目的意識を。
- 時代やタイミングに合った仕組みをうまく回すための関係構築(「**仕組化**」)が必要。
- 百点満点はほとんどない。**完璧な結果だけを求めず、まずチャレンジしてその現実を受け止めていくことが大切。**

参加された方より



シェアミーティングを重ねることは有効だと実感 教職員だけではなく、PTA役員の方や一般参加者の方と一緒に学校のことについて話せるのがこのフォーラムの魅力 学校に加え、保護者や地域の力、市町村教育委員会の単位で工夫した対応が増えると、進み方が加速するのでは 事務職の先生方との連携も大変重要 「効率」と「成果」は違うという話も納得 「効率化＝デジタル化」ではなく、「仕組化」とはというお話、心に残りました 何のために効率化をするのかという目的の部分をしっかり持った取り組みが重要であることを知ることができた 子どもたちや自身の力を高めるために時間を使うことができる働き方につなげるには、どんなことができるのか考えさせられた 現場の先生方が今日も一生懸命子どもたちのために頑張ってくださっていることがありがたく、とても感謝を感じる時間でした

今年度最終!

【第4回働き方改革シェアミーティング（オンライン）のご案内】

日時： 12月17日（水）13:30～15:20（15分前より入室できます）
 テーマ： 「教職員のやりがい」
 方法： オンライン（Zoom ID：840 9799 9483 パスコード：1217）
 多くのみなさまの参加をお待ちしております



☆文科省「学校における働き方改革推進事業」がはじまりました

「学校における働き方改革推進事業」が本格的にスタートしています。公募により、長野市、松本市、塩尻市、南箕輪村の4市村が希望し、事業を進めています。

【事業の内容】

A 「業務量管理・健康確保措置実施計画」作成支援

服務監督教育委員会向けに、年度末までに策定いただく「業務量管理・健康確保措置実施計画」の作成に係る支援を進めています。

B 「授業改善×業務改善の二刀流」による働き方改革の推進（ワークショップ）

「質の高い学び」と「持続可能な学校」を同時に実現するために、各自治体や学校のニーズに合わせて校内ワークショップを一つのきっかけとして展開しています。

学校における働き方改革の取組推進に係る 校内ワークショップの紹介

塩尻市立広丘小学校で行われる
上記Bに係るワークショップの展開例のご紹介です

日時： 12月17日（水）15:20～16:50
 内容： 授業改善と業務改善を両輪とした働き方改革推進を目的とした校内ワークショップの様子を紹介
 方法： オンライン（Zoom）
 ID：840 9799 9483
 パスコード：1217
 シェアミーティングに引き続き開催
 協力： 塩尻市教育委員会
 塩尻市立広丘小学校
 （株）先生の幸せ研究所

誰でもご参加
いただけます!



学校主体で取り組む
働き方改革とは？
校内でどのように進
めればいいのか？

学校における働き方改革推進に係る校内ワークショップ（概要）

（株）先生の幸せ研究所が開発するワークショップを参考に作成

職務教育課

■ワークショップの目的 ～こんなところを狙っています～

- ・子どもの自立した学び手へ導く授業革新」と「教職員が自分の力で余白をつくる業務改善」の実現
- ・自立的かつ持続可能な学校における働き方改革の実現
- ・誰か一人の意見で決まるのではなく、皆で話し合っって納得解を見出し、達成感を分かち合う働き方改革の実現

■ワークショップの主な流れ（参考）

※時間は60分～90分を想定

はじめに	働き方改革の目的やバイアス、探究のサイクルによる働き方改革について確認する
アイデア出し	学校において「みんなですぐできること」「時間がかかるけれどやりたいこと」を付箋に書きだし、模造紙にて共有する
チーム決め	自身のテーマを選び、チームを決める
作戦会議	チームごとにワークシートを①話し合いながら、②付箋や書き込みながら整理し、③グループごとの推しを決める
推しプレゼン	作戦会議をもとに、「みんなですぐできること」「時間がかかるけれどやりたいこと」を1分でプレゼンテーション
おわりに	まとめ、ふりかえり

試行実施、校務分掌検討、推進チーム検討、プロジェクトチーム検討へ



こんな時代だから、ワクワクしたい!!
 これからの目指す姿
**個人と社会の
 ウェルビーイングの
 実現**

【発行】

長野県教育委員会事務局義務教育課
 （担当：荒井、武内）
 電話：026-235-7426
 Mail：gimukyo@pref.nagano.lg.jp

学校の働き方改革等に関する情報はこちら

長野県 教職員情報

